

## 1. インターンシップの概要

株式会社下堂菌からお茶を提供していただき、タイに一月間滞在する中で、お茶を手段として参加者自身の目標達成ができる生活を現地で行う。自由を担保したプロジェクトである。

## 2. 活動内容

12 月の最終選考会で参加者決定後、事前研修として株式会社下堂菌の本社で様々な部署を見学したり、茶舗ではお茶の入れ方、種類、接客業について学んだりした。

2 月から 3 月にかけてタイに一月間滞在し、鹿児島のお茶を広めつつ自身の目標達成に努める生活を行った。帰国後は鹿児島大学にて報告会を行った。

## 3. 応募動機

大学入学後にイベント主催等の興味関心のある様々な活動に取り組む中で自分が本当にやりたいことがわからなくなり悩んでいたため、このインターンシップを経験することでやりたいことを見つけるきっかけになり、出会いや経験が自分の可能性をさらに広げ成長につながると思ったから。

## 4. 渡航目的

タイ在住の日本人に会い、次期 NPO 法人 GROAD の代表として、次のステップにつながる新しい何かを見つけること。

## 5. タイでの活動内容を振り返って

タイ在住の日本人に会い、約 60 名の方と名刺交換した。鹿児島で出会った人の紹介から人脈が広がり、旅行会社や居酒屋を企業した方々、鹿児島県人会、熊本県人会、駐在員、日本国大使館の方々にお会いした。その中で、NPO 法人 GROAD の代表として、100 名以上の組織をまとめていく上での悩みや、経営方針や理念の立て方、マネジメントについて相談をした。そして、お土産として鹿児島のお茶を配ることで、鹿児島茶の知名度向上に努めた。企業訪問した際に従業員のタイ人にお茶を配ったり、道行く人に試飲してもらうことで、日本人だけでなくタイにも人のつながりからお茶を広める活動につながった。人脈は自然と広がるもので、タイと鹿児島のラグビーチームの試合が開催され、鹿児島から応援のために来られた森市長、県庁、市役所の方々、社長や代表取締役の方々がいてさらに人脈が広がった。今回のインターンを通して日本やタイでの出会いは私にとって大きな財産となった。

このプロジェクトが始まる前までは何か得られるのではないかと期待をしていたが、実際には得られるものよりも気づかされる方が多かった。一番気づかされたことは仲間の大切さである。一緒に活動している仲間が鹿児島にたくさんいること、インターンに関わってくださったすべての人や家族の存在の大切さに気付かされた。鹿児島に戻ってきた今、一番やりたいことを本気で仲間と楽しくやっていきたいという思いがより一層増した。

